

平成20年12月の結果 (二人以上の世帯)

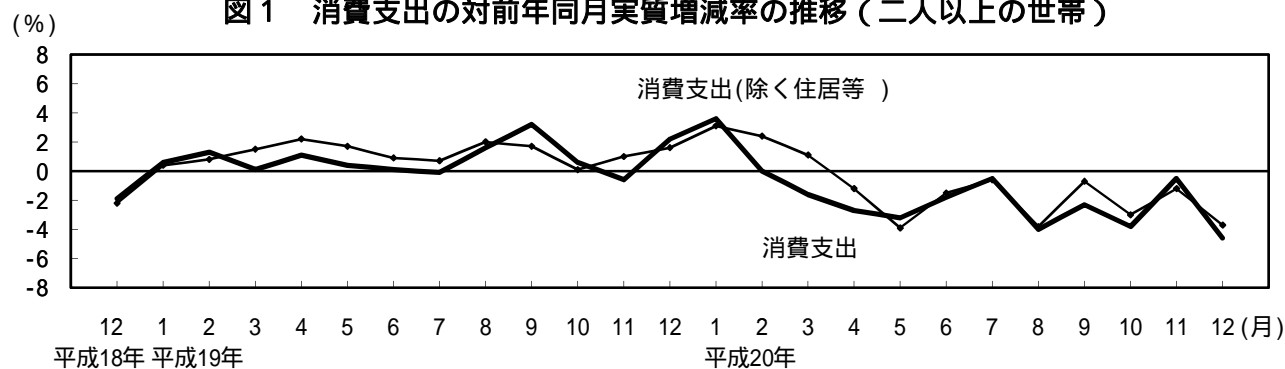
二人以上の世帯

消費支出は、1世帯当たり 336,976 円
 前年同月比 実質 4.6%の減少 前月比(季節調整値) 実質 2.5%の減少
 消費支出(除く住居等)は、
 前年同月比 実質 3.7%の減少 前月比(季節調整値) 実質 2.6%の減少
 うち勤労者世帯の実収入は、
 前年同月比 実質 1.6%の増加

：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

1 消費支出の推移

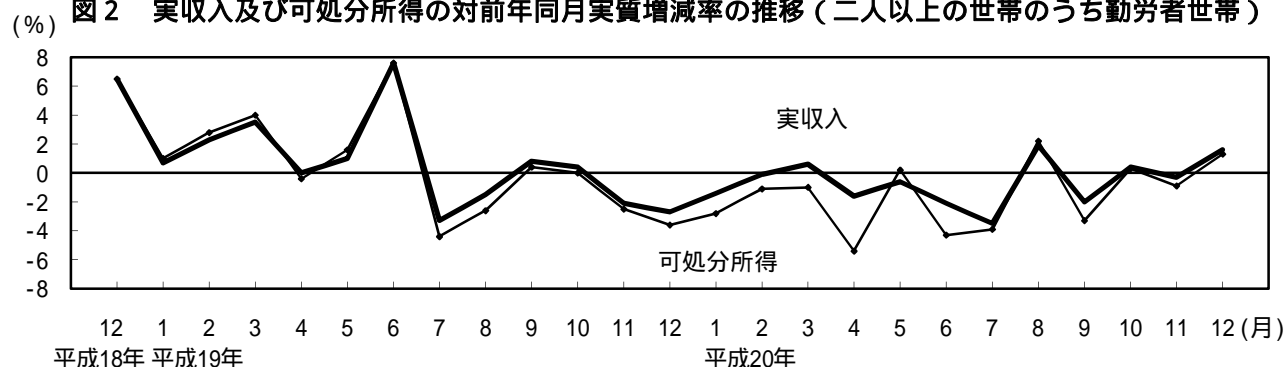
図1 消費支出の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯)



	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	2.2	3.6	0.0	-1.6	-2.7	-3.2	-1.8	-0.5	-4.0	-2.3	-3.8	-0.5	-4.6
消費支出(除く住居等)	1.6	3.1	2.4	1.1	-1.2	-3.9	-1.5	-0.6	-3.8	-0.7	-3.0	-1.2	-3.7

2 勤労者世帯の収入の推移

図2 実収入及び可処分所得の対前年同月実質増減率の推移(二人以上の世帯のうち勤労者世帯)



	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
実収入	-2.7	-1.4	-0.1	0.6	-1.6	-0.6	-2.1	-3.5	1.9	-2.0	0.4	-0.3	1.6
可処分所得	-3.6	-2.8	-1.1	-1.0	-5.4	0.2	-4.3	-3.9	2.2	-3.3	0.3	-0.9	1.3
消費支出	1.8	3.0	1.4	-0.2	-0.6	-0.9	0.3	-0.1	-3.1	-3.4	-6.0	1.2	-4.1
平均消費性向	2.5	5.1	1.8	0.7	4.4	-1.0	2.4	2.6	-4.4	-0.1	-5.2	1.8	-2.5

*：対前年同月ポイント差

3 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（平成20年12月 - 二人以上の世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への寄与度(%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	336,976	-4.2	-4.6	-4.6		10か月連続の実質減少
食 料	84,580	0.5	-3.0	-0.71	<減 少> 調理食品, 外食など	2 か月ぶりの実質減少
住 居	22,102	-9.2	-9.7	-0.67	<減 少> 設備修繕・維持, 家賃地代	2 か月ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	23,815	-1.4	-3.1	-0.22	<減 少> ガス代, 電気代	9 か月連続の実質減少
家具・家事用品	13,027	-6.2	-6.4	-0.25	<減 少> 家庭用耐久財, 室内装備・装飾品など	3 か月連続の実質減少
被服及び履物	13,644	-7.9	-8.4	-0.35	<減 少> 洋服, シャツ・セーター類など	2 か月ぶりの実質減少
保健医療	13,234	-8.0	-7.6	-0.31	<減 少> 保健医療サービス	8 か月連続の実質減少
交通・通信	38,889	-6.2	-1.2	-0.13	<減 少> 自動車等関係費, 交通	2 か月ぶりの実質減少
教 育	10,067	3.2	2.5	0.07	<増 加> 授業料等	2 か月ぶりの実質増加
教 養 娛 楽	36,561	-3.1	-2.7	-0.29	<減 少> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用品など	2 か月ぶりの実質減少
その他の消費支出	81,058	-6.9	(-7.3)	(-1.79)	<減 少> こづかい, 交際費など	9 か月連続の減少

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類

品 目

< 減少項目 >

実質寄与度

交際費	[-0.93]	贈与金, 住宅関係負担費
設備修繕・維持	[-0.56]	修繕材料, 畳替え
保健医療サービス	[-0.42]	歯科診療代, 他の入院料*
諸雑費	[-0.35]	葬儀関係費, 信仰・祭祀費
自動車等関係費	[-0.29]	自動車購入
家庭用耐久財	[-0.24]	エアコンディショナ, 炊事用電気器具
洋服	[-0.21]	背広服, 男子用上着
調理食品	[-0.19]	うなぎのかば焼き, すし(弁当)
外食	[-0.16]	和食, すし(外食)
魚介類	[-0.14]	まぐろ, ぶり

< 増加項目 >

通信	[0.13]	移動電話通信料
教養娯楽用耐久財	[0.13]	テレビ, パーソナルコンピュータ

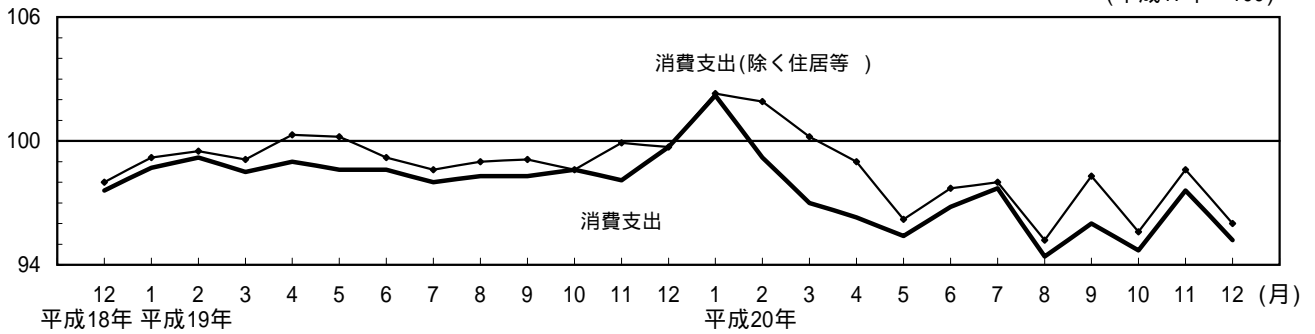
注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 交際費の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

* 「他の入院料」とは、「出産入院料」以外の入院料をいう。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移（二人以上の世帯）

（平成17年 = 100）



	平成19年	平成20年											
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
消費支出	99.7	102.2	99.2	97.0	96.3	95.4	96.8	97.7	94.4	96.0	94.7	97.6	95.2
対前月変化率(%)	1.6	2.5	-2.9	-2.2	-0.7	-0.9	1.5	0.9	-3.4	1.7	-1.4	3.1	-2.5
消費支出(除く住居等)	99.7	102.3	101.9	100.2	99.0	96.2	97.7	98.0	95.2	98.3	95.6	98.6	96.0
対前月変化率(%)	-0.2	2.6	-0.4	-1.7	-1.2	-2.8	1.6	0.3	-2.9	3.3	-2.7	3.1	-2.6

注 季節調整の方法は、センサス局法(X12-ARIMAのX11デフォルト、管理限界2 ~ 3)を用いた。

4 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（平成20年12月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	969,449	2.0	1.6	1.6	2か月ぶりの実質増加
世 帯 主 収 入	804,257	0.7	0.3	0.24	4か月ぶりの実質増加
定 期 収 入	366,004	0.8	0.4	0.16	9か月ぶりの実質増加
臨時収入・賞与	438,254	0.6	0.2	0.08	
配 偶 者 の 収 入	92,978	6.2	5.8	0.53	7か月連続の実質増加
う ち 女 性	92,080	5.8	5.4	0.49	7か月連続の実質増加
他の世帯員収入	13,831	1.3	0.9	0.01	2か月ぶりの実質増加
非 消 費 支 出	148,169	3.3	-	-	7か月連続の増加
可 処 分 所 得	821,280	1.7	1.3	-	2か月ぶりの実質増加
消 費 支 出	365,435	-3.7	-4.1	-	2か月ぶりの実質減少
平均消費性向(%)	44.5	(前年同月) (ポイント差)			季節調整値でみると、70.0%で、前月に比べ、5.2ポイントの低下となった。
		47.0	-2.5		